

### 第3節 京都指標の推移

京都府では、「明日の京都」に掲げた約 300 の施策指標（数値目標）に基づき、府が実施する施策の成果等を測定・点検し、絶え間なく施策のイノベーションに取り組み、「明日の京都」を推進することとしているが、これら数値目標の達成が「府民のしあわせの実感」という「明日の京都」の本質的な目標に適っているかどうかを点検するための手段として、府民の意識や満足感なども取り入れた「京都指標」を設定している。

この「京都指標」は、「統計データ（43 項目）」と「京都府民の意識調査（42 項目）」で構成しており、その状況等については、次のとおりである。

#### 【京都指標の状況】 ※ 資料 1・2 参照

- ・「統計データ」：やや後退（2012 年度:64→2013 年度:64→2014 年度:61）
- ・「府民意識調査結果」：ほぼ横ばい（2012 年度:57→2013 年度:59→2014 年度:58）  
となっており、全体の指数は大きな変化なく推移している。

#### ■統計データ(2014 年 9 月現在) ※ 資料 1・3 参照

- ・「明日の京都」の性質別で、「人の絆・地域の絆」が 1 ポイント増加する一方、その他性質別の項目及び体系別の全項目で減少している。
- ・前回集計以降に数値の更新があった 31 指標のうち 18 指標で数値が改善するとともに、23 項目が全国平均を上回っている。
- ・個別指標では、「刑法犯少年数」、「高卒就職率」で改善が見られたものの、「いじめの認知件数」がワースト 5 位へ、「高等学校を中退した生徒の割合」、「自殺者数」、「人権侵犯事件数」が 10 位前後順位を落とすなどにより、指標値が大きく後退し、前年度と比較して低くなっている。

#### ■府民意識調査(2014 年 6 月実施結果) ※ 資料 1・4 参照

- ・「明日の京都」の体系別では、「地域共生の実現」が横ばいであり、その他「府民安心の再構築」及び「京都力の発揮」が 1~2 ポイント減少している。指標の性質別では、「こころの豊かさ」が横ばいであり、「人の絆・地域の絆」及び「社会環境」が 1~2 ポイント減少している。
- ・前回調査（2013 年 6 月）と比較し、14 項目で数値が上昇するとともに、「明日の京都」で目指す社会の状況により近いと思う割合が 7 割以上あった回答が 14 項目となっている。
- ・個別指標では、「子育てに喜びややりがいを感じている親の割合（96%）」や「子どもが学校に行くことやそこで学ぶことに楽しさややりがいを感じていると思う親の割合（89%）」といった「こころの豊かさ」に関する指標に高いものが多い。
- ・その反面、「府や市町村の実施する府民協働の取組に何らかの形で参画している人の割合（10%）」や「障害のある人と交流したり、障害のある人を支援する活動などに参画している人の割合（18%）」など、「人の絆・地域の絆」に関する指標に低い

ものが多い。

- ・「これからも京都府に住み続けたいと思う人の割合」は、91%と、非常に高い割合で推移している。

#### 【これまでの成果】 ※ 資料3・4・7 参照

2011年度以降、京都指標の状況をもとに、重点課題の絞り込みと予算・組織の集中的な投資により、指標数値の大きな改善を見た主な項目は、次のとおりである。

- ・ 刑法犯少年検挙人員（少年人口1000人当たり）
  - 2011年の全国ワースト1位（15.5人）から脱却し、2013年は全国38位（9.5人）となっている。
- ・ 認証NPO法人数（人口10万人当たり）
  - 2011年度40.0法人であったものが、2013年度49.0法人となり、全国2位となっている。
- ・ 留学生数（人口10万人当たり）
  - 全国平均が減少傾向を示している中、京都府では、2011年度237.3人から、2013年度は276.8人となり、全国3位となっている。
- ・ 「子育てに喜びややりがいを感じている親の割合」、「子育ての悩みを気軽に相談できる人がいる親の割合」、「住んでいる地域が、子どもが育つのに良い環境だと思う人の割合」、「子どもが、学校に行くことやそこで学ぶことに楽しさややりがいを感じていると思う親の割合」、「地域の防犯または防災活動に取り組んでいる人の割合」、「地震などの災害に備えて、避難場所や経路の確認をはじめとする避難準備や物資の備蓄などに取り組んでいる人の割合」他6指標
  - 意識調査結果が2年連続で上昇している。

#### 【今後の対応】

##### ■ 統計データ ※ 資料3 参照

直近値とその前の数値が連続して後退した項目は次の2項目であり、「人権侵犯事件数」については、全国平均の推移と異なり、上昇しているため、今後の動きを注視することが必要である。

- ・ 人権侵犯事件数（人口10万人当たり）  
（2011年:23.2件→2012年:23.9件→2013年:29.1件）
- ・ 特許出願件数（人口10万人当たり）  
（2011年:363.0件→2012年:345.4件→2013年:334.5件）

全体的には、この間の集中的な投資により改善を見たものが、再び後退することのないよう留意しながらマネジメントに努める。

##### ■ 府民意識調査 ※ 資料4・6 参照

2年連続して数値が低下した項目（小数点以下四捨五入）はない。

京都府への定住意向との相関関係（連関性を示すガンマ値（「京都府に住み続けたい」

と回答した人は、どのような項目に価値をおいているかを測る方法))が直近3カ年平均(過年度に実施した調査データの平均)で高い項目は次のとおりである。

- ・ 京都府が優れたまち並みや景観、自然環境に恵まれていると思う(0.524)
- ・ 住んでいる地域について、個性や魅力を感じている(0.481)
- ・ 住んでいる地域が、子どもが育つのに良い環境だと思う(0.391)
- ・ 住んでいる地域が、高齢者や障害のある人をはじめ、子ども、成人、妊婦、外国人などすべての人にとって暮らしやすい地域であると思う(0.358)
- ・ 京都府では歴史的な文化遺産や文化財等が社会全体で守られ、引き継がれていると思う(0.328)

以上のことから、今後、「子育て・子育て」や「ユニバーサルデザイン」、「環境対策」、「文化創造」などが重要な課題となる。

## 2014年度「京都指標」の状況

## ○統計データ

(指標数)	2014年度	2013年度	2012年度	①「明日の京都」体系別			②性質別				
(指標数)	2014年度	2013年度	2012年度	(指標数)	2014年度	2013年度	2012年度	(指標数)	2014年度	2013年度	2012年度
全体 (43)	61	64	64	府民安心の再構築 (20)	51	57	57	こころの豊かさ (4)	86	91	91
				地域共生の実現 (7)	45	48	50	人の絆・地域の絆 (4)	63	62	63
				京都力の発揮 (16)	79	81	78	社会環境 (35)	57	62	61

※統計データ：各データの全国順位をもとに、1位を100、47位を0として割り振ったものの平均から算出している

## ○府民意識調査結果

(指標数)	2014年度	2013年度	2012年度	①「明日の京都」体系別			②性質別				
(指標数)	2014年度	2013年度	2012年度	(指標数)	2014年度	2013年度	2012年度	(指標数)	2014年度	2013年度	2012年度
全体 (42)	58	59	57	府民安心の再構築 (19)	60	61	59	こころの豊かさ (12)	59	59	57
				地域共生の実現 (11)	59	59	58	人の絆・地域の絆 (16)	48	49	48
				京都力の発揮 (10)	50	52	55	社会環境 (12)	68	70	68

※府民意識調査結果：「明日の京都」で目指す社会の状況に、より近い選択肢を選んだ人の割合の平均から算出している

## 京都指標「明日の京都」体系別一覧

## 【府民安心の再構築】

めざす社会の姿	理念	指標	測定方法	性質別の区分
<b>(1)子育て・子育ての安心 ～安心して子どもを産み、育てられる社会へ～</b>				
<p>そこでは、</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●安心して出産でき、育児や保育で親や家族が孤立せず、社会全体で子育てを行います</li> <li>●子どもの権利が大切にされ、子どもたちがのびのびと楽しく過ごせます</li> </ul>	子育てのやりがい	子育てに喜びややりがいを感じている親の割合	府民意識調査	こころの豊かさ
	子育ての絆 (社会全体での子育て)	子どもの健全育成に取り組むNPO法人の数(人口10万人当たり)	内閣府調査(内閣府)	人の絆・地域の絆
		子育ての悩みを気軽に相談できる人がいる親の割合	府民意識調査	人の絆・地域の絆
	子育て・子育ての環境	産婦人科・産科医師数(15～49歳女子人口10万人当たり)<2年ごと>	医師・歯科医師・薬剤師調査(厚生労働省)	社会環境
		小児科医師数(15歳未満人口10万人当たり)<2年ごと>	医師・歯科医師・薬剤師調査(厚生労働省)	社会環境
		住んでいる地域が、子どもが育つのに良い環境だと思う人の割合	府民意識調査	社会環境
	健やかな育ち	働いている職場において、子育てに対する理解や支援が十分であると思う人の割合	府民意識調査	社会環境
		暴力行為の発生件数(小・中・高等学校)(児童生徒1000人当たり)	児童生徒の問題行動等生徒指導上の諸問題に関する調査(文部科学省)	社会環境
		いじめの認知件数(児童生徒1000人当たり)	児童生徒の問題行動等生徒指導上の諸問題に関する調査(文部科学省)	社会環境
		不登校児童・生徒数(小・中学校)(1000人当たり)	児童生徒の問題行動等生徒指導上の諸問題に関する調査(文部科学省)	社会環境
		刑法犯少年数(14～19歳人口1000人当たり)	府警本部調べ	社会環境
<b>(2)学びの安心 ～生涯を通じて、一人ひとりの個性と能力を伸ばす教育機会が確保された社会へ～</b>				
<p>そこでは、</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●子どもたちが学びたいという意欲にあふれ、確かな学力が備わります</li> <li>●規則正しい生活習慣や食習慣、学習習慣を身に付け、知力や体力とともに、思いやりの心や環境・文化、ふるさとを大切にす心、社会参画や規範の意識、豊かな国際感覚などの生きる力(人間力)がはぐくまれます</li> <li>●だれもが生涯を通じて、それぞれに適した方法で学習できるよう、いつでも学べる環境が整っています</li> </ul>	個性と能力を伸ばす教育	子どもが、学校に行くことやそこで学ぶことに楽しさややりがいを感じていると思う親の割合	府民意識調査	こころの豊かさ
	教育機会の確保	高等学校を中退した生徒の割合(中途退学率)	児童生徒の問題行動等生徒指導上の諸問題に関する調査(文部科学省)	社会環境
	子どもの教育への関わり	子どもの有無にかかわらず、学校行事や子どもの社会体験活動への協力など、何らかの形で子どもの教育に参画している人の割合	府民意識調査	人の絆・地域の絆
	生涯学習	キャリアアップや趣味・娯楽、地域貢献活動やボランティア活動などを目的とした生涯学習に取り組んでいる人の割合	府民意識調査	こころの豊かさ
<b>(3)働き方の安心 ～やりがいの持てる仕事への就業機会が確保された社会へ～</b>				
<p>そこでは、</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●質の高い職業教育と職業訓練を受ける機会が確保され、だれもが働く意欲を持てるようになります</li> <li>●だれもが自分の意志に基づき、それぞれのライフスタイルに合った働き方が選べます</li> </ul>	仕事のやりがい	仕事にやりがいや生きがいを感じている人の割合	府民意識調査	こころの豊かさ
	就業機会の確保	就業希望者のうち、実際に就業している人の割合(※)<5年ごと> ※有業者/(有業者+無業者のうち就業希望者)	就業構造基本調査(総務省統計局)	社会環境
		高卒就職率(3月末現在)	高等学校卒業(予定)者の就職(内定)状況に関する調査(文部科学省)	社会環境
		15歳以上人口のうち、職業訓練・自己啓発をした人の割合<5年ごと>	就業構造基本調査(総務省統計局)	こころの豊かさ
	障害のある人の就業	障害者雇用率	障害者の雇用状況について(厚生労働省)	社会環境
<b>(4)医療・福祉の安心 ～やりがいの持てる仕事への就業機会が確保された社会へ～</b>				
<p>そこでは、</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●だれもが自分や家族の健康を気づかい、健康づくりに取り組んでいます</li> <li>●どこに住んでいても、必要な医療や福祉のサービスを受けられます</li> <li>●障害のある人、病気の人などが孤立せず、生きがいを持って暮らせます</li> </ul>	健康づくり	規則正しい食事や運動など、健康づくりに取り組んでいる人の割合	府民意識調査	こころの豊かさ
	医療へのアクセシビリティ	社会福祉士・介護福祉士・精神保健福祉士の登録者数(人口10万人当たり)	(財)社会福祉振興・試験センター資料	社会環境
		平均救急搬送時間	救急・救助の現況(消防庁)	社会環境
		住んでいる地域に、最寄りの診療機関またはかかりつけ医へ行くための交通手段(電車、バス等)が十分に整っていると思う人の割合	府民意識調査	社会環境
		病気やけがで困ったときに気軽に相談できるかかりつけ医がいる人の割合	府民意識調査	人の絆・地域の絆
障害のある人との交流	障害のある人と交流したり、障害のある人を支援する活動などに参画している人の割合	府民意識調査	人の絆・地域の絆	
<b>(5)長寿の安心 ～安心して年齢を重ね、長寿を謳歌できる社会へ～</b>				
<p>そこでは、</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●療養や介護を必要とする高齢者が社会全体で支えられ、在宅でも安心して生活できます</li> <li>●高齢者が生きがいとやりがいを持って暮らせます</li> </ul>	健康長寿	第1号被保険者(65歳以上)の要介護認定者割合	介護保険事業状況報告調査(厚生労働省)	社会環境
	介護の負担感の軽減	家族の介護に負担や苦痛を感じていない家族介護者の割合	府民意識調査	こころの豊かさ
	介護等の絆 (社会全体での高齢者支援)	家族介護の悩みを気軽に相談できる人がいる家族介護者の割合	府民意識調査	人の絆・地域の絆
		住んでいる地域に、デイサービスやショートステイなどの老人福祉施設、介護ボランティアやNPOなど、地域全体で高齢者を支える体制が十分に整っていると思う人の割合	府民意識調査	社会環境
高齢者の生きがい・やりがい	趣味や地域貢献活動など、やりがいや生きがいを感じるものがある高齢者の割合	府民意識調査	こころの豊かさ	

めざす社会の姿	理念	指標	測定方法	性質別の区分
<b>(6)暮らしの安心 ～犯罪や事故の危険性が小さく、災害にも強い社会へ～</b>				
そこでは、 ●高い府民意識のもとで、犯罪や事故、災害などを予防し、備えることで被害を少なくする取組が社会全体で行われます ●安全な食料が供給され、新型コロナウイルスなどの健康危機に対処する体制が整っています	犯罪の起きにくい社会づくり	街頭犯罪(※)認知件数(人口10万人当たり) ※街頭犯罪:屋外で発生する強盗、恐喝及び強制わいせつの犯罪並びに窃盗犯のうち、ひったくり、車上狙い、自動販売機狙い、自動車盗、オートバイ盗、自転車盗及び部品狙いの犯罪	犯罪統計資料(警察庁)	社会環境
	交通事故からの安心感	交通事故死傷者数(人口10万人当たり)	交通事故の発生状況(警察庁)	社会環境
	災害からの安心感	火災出火件数(人口10万人当たり)	火災年報(総務省消防庁)	社会環境
		自主防災組織の活動カバー率	消防防災震災対策現況調査(総務省消防庁)	人の絆・地域の絆
	犯罪や災害への備え(高い府民意識)	地域の防犯または防災活動に取り組んでいる人の割合	府民意識調査	人の絆・地域の絆
		地震などの災害に備えて、避難場所や経路の確認をはじめとする避難準備や物資の備蓄などに取り組んでいる人の割合	府民意識調査	こころの豊かさ
	食の安心・安全	食料を購入する際、地元産であることを意識して選んでいる人の割合	府民意識調査	こころの豊かさ
いのちを支える	自殺者数(人口10万人当たり)	自殺の状況(警察庁)	こころの豊かさ	

## 【地域共生の実現】

めざす社会の姿	理念	指標	測定方法	性質別の区分
<b>(1)人権尊重 ～一人ひとりの尊厳と人権が尊重され、だれもが自分らしく生きることのできる社会へ～</b>				
そこでは、 ●あらゆる人々の人権が尊重され、互いを認め合い、だれもが自己実現に向けて個性や能力を発揮できます ●障害のある人もない人も、ともに支え合い、同じように快適に生活し、活動できます	人権の意識	人権侵犯事件数(人口10万人当たり)	人権侵犯事件統計(法務省)	社会環境
		日々の生活の中で、性別や身体状況などによる差別、虐待や誹謗中傷などの人権侵害があると感じていない人の割合	府民意識調査	社会環境
	ユニバーサルデザインの推進	高齢者等のための設備がある住宅(※)の割合 ※以下のいずれか一つ以上に該当する住宅 ・手すりがある ・またぎやすい高さの浴槽 ・廊下などが車いすで通行可能な幅 ・段差のない屋内 ・道路から玄関まで車いすで通行可能	住宅・土地統計調査(総務省)	社会環境
		住んでいる地域が、高齢者や障害のある人をはじめ、子ども、成人、妊婦、外国人などすべての人にとって暮らしやすい地域であると思う人の割合	府民意識調査	社会環境
<b>(2)地域力再生 ～地域の課題解決に向け、地域みんなが連携・協働する社会へ～</b>				
そこでは、 ●京都の持つ環境や文化の力もいかながら、すべての地域で人々の絆づくりが進みます ●行政はもちろん、住民、企業、大学、NPOなど様々な人や組織が自立しつつ、それぞれの強みと協働による相乗効果を発揮しながら、みんなで社会を支えます	地域課題への取組	認証NPO法人数(人口10万人当たり)	内閣府調査(内閣府)	人の絆・地域の絆
		ボランティア活動の年間行動者率(※)<5年ごと> ※ボランティア活動の年間行動者数/10歳以上人口	社会生活基本調査(総務省)	人の絆・地域の絆
		様々な地域課題に対応する自治会やNPOの活動などに参画している人の割合	府民意識調査	人の絆・地域の絆
	行政との協働・府民参画	府や市町村の実施する府民協働の取組(※)に何らかの形で参画している人の割合 ※地域力再生事業、命の里事業、モデルフォレスト運動、府民公募型整備事業、防犯ステーション、子ども・地域見守り隊、さわやかボランティア・ロード事業 など	府民意識調査	人の絆・地域の絆
<b>(3)新たなコミュニティづくり ～自由で開かれた新しいタイプのコミュニティのある社会へ～</b>				
そこでは、 ●これまでの家族や地縁に加えて、人々が自分の意志で様々な形につながり、多彩な活動が行われます ●みんなの知恵や知識、能力がより良い地域づくりのために結集され、学習し成長する地域が形成されます	家族の絆	同居する家族と夕食を共にしている頻度	府民意識調査	人の絆・地域の絆
	友人との絆	身の回りに親しい友人・仲間がいる、または、定期的に顔を出す場所がある人の割合	府民意識調査	人の絆・地域の絆
	近隣との絆	困ったときに気軽に頼れるご近所さんがいる人の割合	府民意識調査	人の絆・地域の絆
		住んでいる地域で、自治会活動などのコミュニティ活動が活発に行われていると思う人の割合	府民意識調査	人の絆・地域の絆
<b>(4)男女共同参画 ～男女が社会の対等な構成員として様々な場で自己実現できる社会へ～</b>				
そこでは、 ●男女の個人としての尊厳が大切にされ、だれもが持てる力を発揮できます ●男女の雇用機会が均等になり、社会参画を阻害する制度や慣行がなくなります	家事・育児の負担感の軽減	就業を希望する無業の女性のうち、結婚・育児を理由に前職を離職した人の割合<5年ごと>	就業構造基本調査(総務省統計局)	社会環境
		配偶者が家事を十分に分担していると思う既婚者の割合	府民意識調査	人の絆・地域の絆
<b>(5)ふるさと定住 ～だれもが生まれ育った土地に住み続けられる魅力ある社会へ～</b>				
そこでは、 ●すべての地域が住みやすく、それぞれが個性と魅力にあふれています ●すべての地域に、生きがいとやりがいを持って働くことのできる就業の機会があります ●交通、情報通信、医療、教育、上下水道など、すべての地域が定住可能となるよう必要な基盤が整っています	ふるさとでの就業	居住する土地で働く人の割合(※)<5年ごと> ※各市町村内で従業者数/就業者数	国勢調査(総務省)	社会環境
	ふるさとの住みやすさ・定住環境	住んでいる地域について、個性や魅力を感じている人の割合	府民意識調査	社会環境
		水洗化普及率	各年度の整備量調査による具体的な数量把握	社会環境
		住んでいる地域に、就業、交通、情報通信、医療、教育、上下水道などの定住に必要な基盤が十分に整っていると思う人の割合	府民意識調査	社会環境

## 【京都力の発揮】

めざす社会の姿	理念	指標	測定方法	性質別の区分	
<b>(1)人づくり ～次代の京都を担う人や、世界を舞台に活躍する人づくりの京都へ～</b>					
<p>そこでは、</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●京都にある大学・研究機関、企業などが世界と活発に交流し、世界水準の最先端の研究活動が行われ、様々な分野でイノベーションが進展します</li> <li>●世界を視野に入れた水準の高い教育が様々な分野で行われます</li> <li>●地域課題の解決のために人や資源の持つ力を引き出し、結び付けることができる地域リーダーが育ち、各地で活躍します</li> </ul>	<p>持てる力の発揮</p>	<p>仕事をはじめ社会的な生活を営む上で、自分の持っている才能や知識、技量などが十分に発揮できていると思う人の割合</p>	<p>府民意識調査</p>	<p>こころの豊かさ</p>	
	<p>グローバルに活躍する人材</p>	<p>留学生数(人口10万人当たり)</p> <p>研究機関数(人口10万人当たり)&lt;3年ごと&gt;</p>	<p>外国人留学生在籍状況調査((独)日本学生支援機構)</p> <p>事業所・企業統計調査(総務省)</p>	<p>社会環境</p> <p>社会環境</p>	
<b>(2)環境の「みやこ」～持続可能な人類社会のモデルとして、世界の範となる環境を実現する京都へ～</b>					
<p>そこでは、</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●産業はもとより、労働、移動、消費、居住、教育などのあらゆる社会の営みが、低炭素社会の構築に向かいます</li> <li>●自然環境と調和した暮らしが営まれ、適正な資源循環のしくみを備えた循環型社会が形成されます</li> <li>●生きとし生けるものすべての命が大切にはぐくまれます</li> </ul>	<p>低炭素社会の構築</p>	<p>府民総生産当たりエネルギー消費量(※) ※最終エネルギー消費量/実質府民総生産</p>	<p>都道府県別エネルギー消費統計(資源エネルギー庁)</p>	<p>社会環境</p>	
	<p>循環型社会の形成</p>	<p>一般廃棄物(ごみ)排出量(一人当たり)</p>	<p>一般廃棄物処理事業実態調査(環境省)</p>	<p>社会環境</p>	
	<p>優れた景観、自然環境等</p>	<p>京都府が優れたまち並みや景観、自然環境に恵まれていると思う人の割合</p>	<p>府民意識調査</p>	<p>社会環境</p>	
	<p>自然環境と調和した暮らし</p>	<p>節電や公共交通機関の優先利用、環境負荷の少ない商品の優先購入といったエコな暮らし方を実践している人の割合</p>	<p>府民意識調査</p>	<p>こころの豊かさ</p>	
<b>(3)文化創造 ～豊かな伝統文化を継承し、新しい文化が次々と萌芽する卓越した文化力のある京都へ～</b>					
<p>そこでは、</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●すべての地域で伝統文化が継承され、新しい文化の創造へとつながっていきます</li> <li>●だれもが文化活動やスポーツを楽しみ、芸術に親しむようになります</li> </ul>	<p>文化とのふれ合い</p>	<p>演芸・演劇・舞踊鑑賞の年間行動者率(※)&lt;5年ごと&gt; ※演芸・演劇・舞踊鑑賞の年間行動者数/10歳以上人口</p> <p>住んでいる地域に、博物館や美術館、劇場や文化ホールなど、美術や音楽、演劇といった芸術文化活動を行うための場、あるいはそれらを鑑賞するための場が十分に整っていると思う人の割合</p>	<p>社会生活基本調査(総務省)</p> <p>府民意識調査</p>	<p>こころの豊かさ</p> <p>社会環境</p>	
	<p>伝統的な文化や風習を守り、伝える心</p>	<p>京都府では歴史的な文化遺産や文化財等が社会全体で守られ、引き継がれていると思う人の割合</p> <p>地域の祭りや伝統行事に参画している人の割合</p>	<p>府民意識調査</p> <p>府民意識調査</p>	<p>社会環境</p> <p>人の絆・地域の絆</p>	
	<p>着物の着用</p>	<p>着物を着用している人の割合</p>	<p>府民意識調査</p>	<p>こころの豊かさ</p>	
	<p>スポーツとのふれ合い</p>	<p>スポーツの年間行動者率(※)&lt;5年ごと&gt; ※スポーツの年間行動者数/10歳以上人口</p>	<p>社会生活基本調査(総務省)</p>	<p>こころの豊かさ</p>	
<b>(4)産業革新・中小企業育成 ～京都経済を支える中小企業が安定した経営を行う中で、未来を切りひらく産業のイノベーションが進展する京都へ～</b>					
<p>そこでは、</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●次代の京都経済を牽引する新しい京都ブランド産業が育ちます</li> <li>●伝統産業の匠の技が継承され、新たな生活文化産業が育ちます</li> <li>●京都発のオンリーワン技術やオンリーワン製品が多く生まれます</li> <li>●すべての地域で世界水準の観光が楽しめ、集客や交流産業が拡大します</li> </ul>	<p>京都の産業力</p>	<p>製造業従事者一人当たり付加価値額(従業者4人以上事業所) ※H23工業統計は中止(経済センサスH24実施のため)</p> <p>事業所開業率&lt;3年ごと&gt;</p> <p>特許出願件数(人口10万人当たり)</p> <p>就業者一人当たり農業産出額(販売農家)&lt;5年ごと&gt;</p> <p>就業者一人当たり漁業生産額(海面漁業)&lt;5年ごと&gt;</p>	<p>工業統計調査(経済産業省)</p> <p>事業所・企業統計調査(総務省)</p> <p>特許庁調査(特許庁)</p> <p>農林水産統計(農林水産省)及び農業センサス(農林水産省)</p> <p>農林水産統計(農林水産省)及び漁業センサス(農林水産省)</p>	<p>社会環境</p> <p>社会環境</p> <p>社会環境</p> <p>社会環境</p> <p>社会環境</p>	
	<p>伝統産業を守り、伝える心</p>	<p>創業100年以上の長寿企業の比率(※) ※都道府県別の登録企業数のうち長寿企業が占める割合</p> <p>京都府では西陣織や丹後ちりめん、京焼・清水焼をはじめとする伝統産業が社会全体で守られ、引き継がれていると思う人の割合</p>	<p>帝国データバンク資料</p> <p>府民意識調査</p>	<p>社会環境</p> <p>社会環境</p>	
	<p>京都の観光力</p>	<p>外国人延べ宿泊者数(人口1000人当たり)</p>	<p>宿泊旅行統計調査(観光庁)</p>	<p>社会環境</p>	
	<b>(5)交流連帯 ～府域の内外を快適に移動したり、情報をやりとりでき、世界中から人々が集い交わる京都へ～</b>				
	<p>そこでは、</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●だれもが、どこへでも便利に快適に移動でき、いつでもどこでも情報交流ができる基盤や手段が整い、新しいつながりや新たな活力が生まれます</li> <li>●世界中から人々が訪れ、交流し、地域に溶け込んで暮らせます</li> </ul>	<p>交流の基盤づくり</p>	<p>府県相互間旅客輸送人員(人10人当たり) ※H21→22調査法変更あり</p> <p>フェイスブックやツイッターなどのSNS(ソーシャル・ネットワーキング・サービス)を利用している人の割合</p>	<p>旅客地域流動統計(国土交通省)</p> <p>府民意識調査</p>	<p>社会環境</p> <p>人の絆・地域の絆</p>
		<p>世界との交流</p>	<p>出国率(※) ※出国者数/総人口</p> <p>国際会議の参加者数(人口10万人当たり)</p> <p>海外に住む友人(海外在住の日本人を含む。)または国内に住む外国人の友人がいる人の割合</p>	<p>都道府県別海外旅行者数と出国率((社)日本旅行業協会)</p> <p>国際会議統計(日本政府観光局)</p> <p>府民意識調査</p>	<p>社会環境</p> <p>社会環境</p> <p>人の絆・地域の絆</p>
<b>(6)希望に輝く地域づくり ～それぞれの地域が「みやこ」となるよう夢のある地域構想が展開する京都へ～</b>					
<p>そこでは、</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●個性豊かな地域特性をいかして、すべての地域で特色ある地域構想が展開します</li> <li>●それぞれの地域の間で様々な交流が生まれるように、多様で多彩なプログラムが展開します</li> </ul>	<p>魅力ある「京都」</p>	<p>これから京都府に住み続けたいと思う人の割合</p> <p>将来叶えたい夢や実現したい目標がある人の割合</p>	<p>府民意識調査</p> <p>府民意識調査</p>	<p>—</p> <p>—</p>	

## 統計データ (2014年9月現在)

	統計データ項目	最新実績値		直前実績値		推移 (☆:改善 ★:後退)
		年(度)	全国比較 (◎:上位5位、○:平均以上、△:平均未満、×:下位5位)	年(度)		
府民安心の再構築	子どもの健全育成に取り組むNPO法人の数(人口10万人当たり)	18.46法人 2013年度	○	17.56法人 2012年度		☆
	産婦人科・産科医師数(15～49歳女子人口10万人当たり)<2年ごと>	43.9人 2012年	○	43.9人 2010年		-
	小児科医師数(15歳未満人口10万人当たり)<2年ごと>	129.4人 2012年度	◎	125.6人 2010年度		☆
	暴力行為の発生件数(小・中・高等学校)(児童生徒1000人当たり)	7.9人 2012年度	×	8.3人 2011年度		☆
	いじめの認知件数(児童生徒1000人当たり)	33.94件 2012年度	× ←○	1.63件 2011年度		★
	不登校児童・生徒数(小・中学校)(1000人当たり)	10.7人 2012年度	○	10.4人 2011年度		★
	刑法少年数(14～19歳人口1000人当たり)[速報時点の試算値]	9.5人 2013年	△ ←×	11.8人 2012年		☆
	高等学校を中退した生徒の割合(中途退学率)	1.6% 2012年度	△ ←○	1.5% 2011年度		★
	就業希望者のうち、実際に就業している人の割合(※)<5年ごと> ※有業者/(有業者+無業者のうち就業希望者)	83.2% 2012年	×	83.7% 2007年		★
	高卒就職率(3月末現在)	97.0% 2013年	○ ←△	94.7% 2012年		☆
	15歳以上人口のうち、職業訓練・自己啓発をした人の割合<5年ごと>	27.1% 2012年	○	26.6% 2007年		☆
	障害者雇用率	1.93% 2013年	○	1.80% 2012年		☆
	社会福祉士・介護福祉士・精神保健福祉士の登録者数(人口10万人当たり)	1225.6人 2013年度	○	1201.4人 2012年度		☆
	平均救急搬送時間	32.2分 2012年	○	31.9分 2011年		★
	第1号被保険者(65歳以上)の要介護認定者割合	13.9% 2012年度	△	13.7% 2011年度		★
	街頭犯罪(※)認知件数(人口10万人当たり) ※街頭犯罪:屋外で発生する強盗、窃盗、強制わいせつなど	599件 2013年	× ←△	567件 2012年		★
	交通事故死傷者数(人口10万人当たり)	530.0人 2013年	○	578.8人 2012年		☆
	火災出火件数(人口10万人当たり)[速報時点の試算値]	23.1件 2013年	◎	24.6件 2012年		☆
	自主防災組織の活動カバー率	89.9% 2013年	○	89.6% 2012年		☆
	自殺者数(人口10万人当たり)	19.3人 2013年	○ ←◎	17.0人 2012年		★
地域共生の実現	人権侵犯事件数(人口10万人当たり)	29.1件 2013年	△	23.9件 2012年		★
	高齢者等のための設備がある住宅(※)の割合<5年ごと> ※手すりがある、段差がないなどの住宅	47.3% 2008年	△	39.6% 2003年		☆
	認証NPO法人数(人口10万人当たり)	49.0法人 2013年度	◎	44.0法人 2012年度		☆
	ボランティア活動の年間行動者率(※)<5年ごと> ※ボランティア活動の年間行動者数/10歳以上人口	23.2% 2011年	×	23.4% 2006年		★
	就業を希望する無業の女性のうち、結婚・育児を理由に前職を離職した人の割合<5年ごと>	32.88% 2012年	○	34.13% 2007年		☆
	居住する土地で働く人の割合(※)<5年ごと> ※自市町村内で従業者数/就業者数	64.9% 2010年	○	71.1% 2005年		★
	水洗化普及率	96.5% 2012年度	○ ←◎	96.1% 2011年度		☆
京都市力の発揮	留学生数(人口10万人当たり)	276.77人 2013年度	◎	262.86人 2012年度		☆
	研究機関数(人口10万人当たり)<3年ごと>	8.99 2009年	◎	6.99 2006年		☆
	府民総生産当たりエネルギー消費量(※) ※最終エネルギー消費量/実質府民総生産	25.7 2011年度 GJ/百万円	◎	25.1 2010年度 GJ/百万円		★
	一般廃棄物(ごみ)排出量(一人当たり)	0.339t 2012年度	○	0.342t 2011年度		☆
	演芸・演劇・舞踊鑑賞の年間行動者率(※)<5年ごと> ※演芸・演劇・舞踊鑑賞の年間行動者数/10歳以上人口	14.6% 2011年	◎	15.3% 2006年		★
	スポーツの年間行動者率(※)<5年ごと> ※スポーツの年間行動者数/10歳以上人口	63.3% 2011年	○	68.1% 2006年		★
	製造業従事者一人当たり付加価値額(従業者4人以上事業所)	13.5百万円 2012年	○	13.3百万円 2011年		☆
	事業所開業率<3年ごと>	1.7% 09～12年	△	2.5% 06～09年		★
	特許出願件数(人口10万人当たり)	334.5件 2013年	◎	345.4件 2012年		★
	創業100年以上の長寿企業の比率(※) ※都道府県別の登録企業数のうち長寿企業が占める割合	3.80% 2012年	◎	3.93% 2011年		★
	就業者一人当たり農業産出額(販売農家)<5年ごと>	226.9万円 2010年	△	186.0万円 2005年		☆
	就業者一人当たり漁業生産額(海面漁業)<5年ごと>	372.5万円 2008年	×	363.2万円 2003年		☆
	外国人延べ宿泊者数(人口1000人当たり)	903.2人 2013年	◎	629.4人 2012年		☆
	府県相互間旅客輸送人員(人口一人当たり)	285.5人 2012年度	◎	275.9人 2011年度		☆
	出国率(※) ※出国者数/総人口	15.2% 2013年	○	15.9% 2012年		★
国際会議の参加者数(人口10万人当たり)	4412.5人 2012年	◎	3,234.8人 2011年		☆	
<b>全43項目(更新項目31項目)</b>		<b>◎12項目○18項目△7項目×6項目</b>		<b>更新31項目のうち★18項目(58%)</b>		



# 京都指標「府民意識調査(2014年6月)」結果分析一覧表

	「府民意識調査」項目	割合		推移		(参考) 2012年度 (割合)
		○70%以上 ×30%以下		(○増、×減、 ―横ばい)	2013年度 (割合)	
府民 安心の 再構築	子育てに喜びややりがいを感じている親の割合	96	○	○	95	93
	子育ての悩みを気軽に相談できる人がいる親の割合	87	○	○	83	81
	住んでいる地域が、子どもが育つのに良い環境だと思ふ人の割合	81	○	○	80	77
	働いている職場において、子育てに対する理解や支援が十分であると思ふ人の割合	62		×	65	61
	子どもが、学校に行くことやそこで学ぶことに楽しさややりがいを感じていると思ふ親の割合	89	○	○	88	86
	子どもの有無にかかわらず、学校行事や子どもの社会体験活動への協力など、何らかの形で子どもの教育に参画している人の割合	42		×	46	43
	キャリアアップや趣味・娯楽、地域貢献活動やボランティア活動などを目的とした生涯学習に取り組んでいる人の割合	44		×	46	44
	仕事にやりがいや生きがいを感じている人の割合	75	○	×	80	77
	規則正しい食事や運動など、健康づくりに取り組んでいる人の割合	74	○	○	72	68
	住んでいる地域に、最寄りの診療機関またはかかりつけ医へ行くための交通手段(電車、バス等)が十分に整っていると思ふ人の割合	69		―	69	68
	病気やけがで困ったときに気軽に相談できるかかりつけ医がいる人の割合	60		―	60	60
	障害のある人と交流したり、障害のある人を支援する活動などに参画している人の割合	18	×	×	20	20
	家族の介護に負担や苦痛を感じていない家族介護者の割合	45		×	48	46
	家族介護の悩みを気軽に相談できる人がいる家族介護者の割合	61		×	63	60
	住んでいる地域に、デイサービスやショートステイなどの老人福祉施設、介護ボランティアやNPOなど、地域全体で高齢者を支える体制が十分に整っていると思ふ人の割合	65		×	66	63
	趣味や地域貢献活動など、やりがいや生きがいを感じるものがある高齢者の割合	60		×	64	59
	地域の防犯または防災活動に取り組んでいる人の割合	27	×	○	24	22
	地震などの災害に備えて、避難場所や経路の確認をはじめとする避難準備や物資の備蓄などに取り組んでいる人の割合	32		○	29	28
	食料を購入する際、地元産であることを意識して選んでいる人の割合	60		○	58	57
	地域 共生の 実現	日々の生活の中で、性別や身体状況などによる差別、虐待や誹謗中傷などの人権侵害があると感じていない人の割合	67		×	70
住んでいる地域が、高齢者や障害のある人をはじめ、子ども、成人、妊婦、外国人などすべての人にとって暮らしやすい地域であると思ふ人の割合		60		×	62	61
様々な地域課題に対応する自治会やNPOの活動などに参画している人の割合		22	×	×	26	22
府や市町村の実施する府民協働の取組に何らかの形で参画している人の割合		10	×	×	13	12
同居する家族と夕食を共にしている頻度		92	○	○	90	91
身の回りに親しい友人・仲間がいる、または、定期的に顔を出す場所がある人の割合		78	○	○	77	76
困ったときに気軽に頼れるご近所さんがいる人の割合		51		○	50	46
住んでいる地域で、自治会活動などのコミュニティ活動が活発に行われていると思ふ人の割合		57		×	58	54
配偶者が家事を十分に分担していると思ふ既婚者の割合		72	○	×	73	71
住んでいる地域について、個性や魅力を感じている人の割合		62		△	△	△
京都 力の 発揮	住んでいる地域に、就業、交通、情報通信、医療、教育、上下水道などの定住に必要な基盤が十分に整っていると思ふ人の割合	73	○	×	77	76
	仕事をはじめ社会的な生活を営む上で、自分の持っている才能や知識、技量などが十分に発揮できていると思ふ人の割合	52		×	56	52
	京都府が優れたまち並みや景観、自然環境に恵まれていると思ふ人の割合	88	○	○	87	85
	節電や公共交通機関の優先利用、環境負荷の少ない商品の優先購入といったエコな暮らし方を実践している人の割合	71	○	○	68	69
	住んでいる地域に、博物館や美術館、劇場や文化ホールなど、美術や音楽、演劇といった芸術文化活動を行うための場、あるいはそれらを鑑賞するための場が十分に整っていると思ふ人の割合	41		―	41	44
	京都府では歴史的な文化遺産や文化財等が社会全体で守られ、引き継がれていると思ふ人の割合	89	○	○	85	84
	地域の祭りや伝統行事に参画している人の割合	42		―	42	43
	着物を着用している人の割合	7	×	×	9	8
	京都府では西陣織や丹後ちりめん、京焼・清水焼をはじめとする伝統産業が社会全体で守られ、引き継がれていると思ふ人の割合	62		×	64	59
	フェイスブックやツイッターなどのSNS(ソーシャル・ネットワーキング・サービス)を利用している人の割合	30	×	△	△	△
海外に住む友人(海外在住の日本人を含む。)または国内に住む外国人の友人がいる人の割合	13	×	―	13	15	
将来叶えたい夢や実現したい目標がある人の割合	53		×	58	△	
これからも京都府に住み続けたいと思ふ人の割合	91	○	―	91	91	
<b>全 42 項目</b>		○14項目(33%) ×7項目(16%)		○14項目(33%) ×20項目(47%)		

資料4

年齢						居住地域					性別		Y 値		
20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳以上	丹後	中丹	南丹	京都	山城	男性	女性	「府に住み続けたいと思う」との連関性	○:0.300以上	
○全体集計値から15ポイント以上高い、 ×全体集計値から15ポイント以上低い (性別=異性との差が15ポイント以上高い○、低い×)															
														0.273	
														0.250	
														0.393	○
											×	○		0.025	
														0.133	
×		○				○								0.105	
														0.080	
					○									0.134	
														0.138	
						×	×	×						0.212	
	×				○									0.330	○
														0.063	
○											○	×		0.151	
×											×	○		0.193	
														0.255	
														0.189	
														0.111	
														0.044	
×					○						×	○		0.183	
														0.073	
														0.357	○
×														0.127	
														0.139	
														0.131	
														0.258	
×					○									0.263	
×														0.246	
											○	×		0.252	
						×	×							0.481	○
						×	×	×						0.358	○
						×								0.211	
														0.481	○
														0.167	
						×	×	×						0.223	
														0.363	○
						○								0.201	
														0.049	
						×								0.228	
○	○			×	×									-0.037	
														-0.013	
○					×									0.097	
														○ 7項目17%	

府民意識調査(2014年6月)属性別割合一覧 (%) 属性の割合:全体の割合とのプラス・マイナスの差の表示

	「府民意識調査」項目	割合	昨年度割合	推移	性別	
					男性	女性
府民安心の再構築	子育てに喜びややりがいを感じている親の割合	96	95	1	1	0
	子育ての悩みを気軽に相談できる人がいる親の割合	87	83	4	▲ 4	3
	住んでいる地域が、子どもが育つのに良い環境だと思ふ人の割合	81	80	1	▲ 1	0
	働いている職場において、子育てに対する理解や支援が十分であると思ふ人の割合	62	65	▲ 3	▲ 8	10
	子どもが、学校に行くことやそこで学ぶことに楽しさややりがいを感じていると思ふ親の割合	89	88	1	0	0
	子どもの有無にかかわらず、学校行事や子どもの社会体験活動への協力など、何らかの形で子どもの教育に参画している人の割合	42	46	▲ 4	▲ 6	4
	キャリアアップや趣味・娯楽、地域貢献活動やボランティア活動などを目的とした生涯学習に取り組んでいる人の割合	44	46	▲ 2	▲ 3	3
	仕事にやりがいや生きがいを感じている人の割合	75	80	▲ 5	▲ 2	2
	規則正しい食事や運動など、健康づくりに取り組んでいる人の割合	74	72	2	▲ 5	4
	住んでいる地域に、最寄りの診療機関またはかかりつけ医へ行くための交通手段(電車、バス等)が十分に整っていると思ふ人の割合	69	69	0	▲ 1	0
	病気やけがで困ったときに気軽に相談できるかかりつけ医がいる人の割合	60	60	0	▲ 2	2
	障害のある人と交流したり、障害のある人を支援する活動などに参画している人の割合	18	20	0	▲ 1	2
	家族の介護に負担や苦痛を感じていない家族介護者の割合	45	48	▲ 3	10	▲ 8
	家族介護の悩みを気軽に相談できる人がいる家族介護者の割合	61	63	▲ 2	▲ 10	8
	住んでいる地域に、デイサービスやショートステイなどの老人福祉施設、介護ボランティアやNPOなど、地域全体で高齢者を支える体制が十分に整っていると思ふ人の割合	65	66	▲ 1	▲ 6	5
	趣味や地域貢献活動など、やりがいや生きがいを感じるものがある人の割合	60	64	▲ 4	▲ 3	2
	地域の防犯または防災活動に取り組んでいる人の割合	27	24	3	2	▲ 3
	地震などの災害に備えて、避難場所や経路の確認をはじめとする避難準備や物資の備蓄などに取り組んでいる人の割合	32	29	3	▲ 5	4
食料を購入する際、地元産であることを意識して選んでいる人の割合	60	58	2	▲ 11	10	
地域共生の実現	日々の生活の中で、性別や身体状況などによる差別、虐待や誹謗中傷などの人権侵害があると感じていない人の割合	67	70	▲ 3	▲ 3	3
	住んでいる地域が、高齢者や障害のある人をはじめ、子ども、成人、妊婦、外国人などすべての人にとって暮らしやすい地域であると思ふ人の割合	60	62	▲ 2	▲ 3	2
	様々な地域課題に対応する自治会やNPOの活動などに参画している人の割合	22	26	▲ 4	3	▲ 2
	府や市町村の実施する府民協働の取組に何らかの形で参画している人の割合	10	13	▲ 3	0	0
	同居する家族と夕食を共にしている頻度	92	90	2	▲ 3	3
	身の回りに親しい友人・仲間がいる、または、定期的に顔を出す場所がある人の割合	78	77	1	▲ 7	6
	困ったときに気軽に頼れるご近所さんがいる人の割合	51	50	1	▲ 7	6
	住んでいる地域で、自治会活動などのコミュニティ活動が活発に行われていると思ふ人の割合	57	58	▲ 1	▲ 2	2
	配偶者が家事を十分に分担していると思ふ既婚者の割合	72	73	▲ 1	14	▲ 12
	住んでいる地域について、個性や魅力を感じている人の割合	62	-	-	1	▲ 1
京都力の発揮	住んでいる地域に、就業、交通、情報通信、医療、教育、上下水道などの定住に必要な基盤が十分に整っていると思ふ人の割合	73	77	▲ 4	2	▲ 1
	仕事をはじめ社会的な生活を営む上で、自分の持っている才能や知識、技能などが十分に発揮できていると思ふ人の割合	52	56	▲ 4	6	▲ 5
	京都府が優れたまち並みや景観、自然環境に恵まれていると思ふ人の割合	88	87	1	0	1
	節電や公共交通機関の優先利用、環境負荷の少ない商品の優先購入といったエコな暮らし方を実践している人の割合	71	68	3	▲ 3	3
	住んでいる地域に、博物館や美術館、劇場や文化ホールなど、美術や音楽、演劇といった芸術文化活動を行うための場、あるいはそれらを鑑賞するための場が十分に整っていると思ふ人の割合	41	41	0	▲ 2	2
	京都府では歴史的な文化遺産や文化財等が社会全体で守られ、引き継がれていると思ふ人の割合	89	85	4	▲ 1	0
	地域の祭りや伝統行事に参画している人の割合	42	42	0	▲ 2	2
	着物を着用している人の割合	7	9	▲ 2	▲ 4	4
	京都府では西陣織や丹後ちりめん、京焼・清水焼をはじめとする伝統産業が社会全体で守られ、引き継がれていると思ふ人の割合	62	64	▲ 2	▲ 2	2
	フェイスブックやツイッターなどのSNS(ソーシャル・ネットワーキング・サービス)を利用している人の割合	30	-	-	1	0
	海外に住む友人(海外在住の日本人を含む。)または国内に住む外国人の友人がいる人の割合	13	13	0	1	▲ 1
	将来叶えたい夢や実現したい目標がある人の割合	53	58	-	5	▲ 4
これからも京都府に住み続けたいと思ふ人の割合	91	91	0	0	0	

年齢						居住地域				
20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳～	丹後	中丹	南丹	京都市	山城
4	0	0	1	0	0	▲ 1	▲ 2	▲ 2	0	1
13	4	1	▲ 2	▲ 4	▲ 5	▲ 7	▲ 4	▲ 10	2	0
▲ 8	▲ 6	3	6	2	1	5	▲ 5	2	▲ 1	1
5	▲ 5	▲ 1	▲ 1	5	▲ 5	3	1	▲ 3	▲ 2	4
1	4	0	▲ 4	▲ 3	4	0	▲ 3	▲ 2	1	0
▲ 19	▲ 5	19	6	▲ 1	▲ 3	15	1	▲ 2	▲ 2	▲ 1
1	▲ 9	5	2	1	1	0	4	▲ 3	0	▲ 1
▲ 2	▲ 5	▲ 10	5	9	16	2	1	0	1	▲ 2
▲ 8	▲ 8	▲ 8	▲ 1	10	9	▲ 13	1	▲ 8	1	0
▲ 2	▲ 11	▲ 2	0	3	7	▲ 22	▲ 21	▲ 28	11	▲ 11
▲ 10	▲ 18	▲ 8	1	8	22	▲ 12	▲ 3	▲ 11	4	▲ 3
▲ 1	0	2	0	▲ 3	5	1	5	4	▲ 1	1
16	11	2	1	▲ 4	▲ 6	▲ 12	▲ 9	▲ 11	5	▲ 2
▲ 20	▲ 1	▲ 12	0	8	4	▲ 7	▲ 6	▲ 3	3	▲ 4
▲ 8	2	▲ 7	0	1	6	2	▲ 5	▲ 6	2	▲ 4
65歳以上対象				▲ 1	0	▲ 4	3	▲ 5	1	▲ 2
▲ 14	▲ 8	▲ 1	6	6	5	8	9	0	1	▲ 7
▲ 15	▲ 3	▲ 4	▲ 3	7	12	▲ 1	3	▲ 9	1	▲ 1
▲ 24	▲ 4	▲ 3	3	4	17	10	6	1	0	▲ 4
▲ 4	2	▲ 2	▲ 8	▲ 1	9	1	▲ 4	▲ 4	0	2
▲ 5	▲ 13	▲ 2	4	5	8	▲ 10	▲ 10	▲ 8	6	▲ 7
▲ 15	▲ 11	▲ 2	4	8	13	6	10	▲ 1	▲ 1	0
▲ 8	▲ 5	1	1	3	6	12	9	1	▲ 2	▲ 1
3	▲ 3	2	0	3	▲ 3	0	0	0	0	2
8	▲ 5	▲ 8	▲ 3	▲ 1	6	▲ 1	2	▲ 7	0	0
▲ 18	▲ 6	▲ 9	1	6	16	9	4	▲ 4	0	▲ 3
▲ 17	▲ 5	2	4	6	7	3	2	8	▲ 1	1
1	▲ 1	▲ 4	0	0	5	▲ 11	▲ 8	▲ 1	1	3
5	▲ 4	▲ 3	2	1	▲ 1	▲ 19	▲ 21	▲ 13	5	▲ 1
▲ 3	▲ 2	1	1	2	3	▲ 41	▲ 22	▲ 22	10	▲ 3
6	0	▲ 1	12	2	▲ 14	▲ 15	▲ 4	▲ 9	2	2
0	1	1	2	▲ 5	2	▲ 3	▲ 2	▲ 1	0	2
▲ 7	▲ 6	▲ 4	2	4	9	▲ 14	▲ 5	▲ 5	1	3
5	▲ 6	▲ 2	3	0	0	▲ 30	▲ 22	▲ 26	10	▲ 6
0	▲ 2	▲ 2	▲ 3	2	2	▲ 7	▲ 5	▲ 4	0	3
▲ 9	2	13	▲ 5	0	▲ 1	17	8	3	▲ 1	▲ 3
▲ 3	▲ 1	▲ 1	0	1	6	3	0	0	1	▲ 1
7	3	0	▲ 10	▲ 8	7	▲ 18	▲ 5	▲ 7	0	5
46	24	▲ 2	▲ 10	▲ 21	▲ 24	▲ 11	▲ 6	▲ 5	2	1
13	5	1	▲ 3	▲ 5	▲ 8	▲ 7	▲ 2	▲ 8	2	▲ 1
20	6	▲ 4	10	▲ 6	▲ 16	▲ 7	▲ 4	6	2	▲ 2
2	▲ 5	▲ 3	1	2	4	▲ 5	▲ 5	▲ 2	2	▲ 2

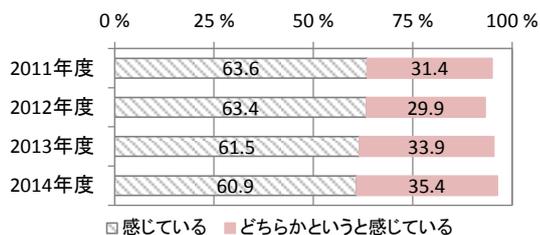
「府民意識調査」において定住意向と連関性が高い項目  
 (京都府に住み続けたいと回答した人が価値をおいている項目)

「府民意識調査」項目	γ 値			
	2012年度	2013年度	2014年度	3カ年の 平均値
京都府が優れたまち並みや景観、自然環境に恵まれていると思う人の割合	0.529	0.561	0.481	<b>0.524</b>
住んでいる地域について、個性や魅力を感じている人の割合	—	—	0.481	<b>0.481</b>
住んでいる地域が、子どもが育つのに良い環境だと思う人の割合	0.352	0.427	0.393	<b>0.391</b>
住んでいる地域が、高齢者や障害のある人をはじめ、子ども、成人、妊婦、外国人などすべての人にとって暮らしやすい地域であると思う人の割合	0.344	0.373	0.357	<b>0.358</b>
京都府では歴史的な文化遺産や文化財等が社会全体で守られ、引き継がれていると思う人の割合	0.308	0.313	0.363	<b>0.328</b>
住んでいる地域に、就業、交通、情報通信、医療、教育、上下水道などの定住に必要な基盤が十分に整っていると思う人の割合	0.237	0.294	0.358	<b>0.296</b>
住んでいる地域に、デイサービスやショートステイなどの老人福祉施設、介護ボランティアやNPOなど、地域全体で高齢者を支える体制が十分に整っていると思う人の割合	0.238	0.324	0.255	<b>0.272</b>
困ったときに気軽に頼れるご近所さんがいる人の割合	0.275	0.273	0.263	<b>0.270</b>
家族介護の悩みを気軽に相談できる人がいる家族介護者の割合	0.287	0.330	0.193	<b>0.270</b>
病気やけがで困ったときに気軽に相談できるかかりつけ医がいる人の割合	0.208	0.269	0.330	<b>0.269</b>
子育ての悩みを気軽に相談できる人がいる親の割合	0.161	0.354	0.250	<b>0.255</b>
住んでいる地域で、自治会活動などのコミュニティ活動が活発に行われていると思う人の割合	0.238	0.270	0.246	<b>0.251</b>
仕事にやりがいや生きがいを感じている人の割合	0.245	0.318	0.134	<b>0.232</b>
子育てに喜びややりがいを感じている親の割合	0.170	0.247	0.273	<b>0.230</b>
京都府では西陣織や丹後ちりめん、京焼・清水焼をはじめとする伝統産業が社会全体で守られ、引き継がれていると思う人の割合	0.210	0.252	0.228	<b>0.230</b>
身の回りに親しい友人・仲間がいる、または、定期的に顔を出す場所がある人の割合	0.132	0.224	0.258	<b>0.205</b>
地域の祭りや伝統行事に参画している人の割合	0.191	0.206	0.201	<b>0.199</b>
住んでいる地域に、最寄りの診療機関またはかかりつけ医へ行くための交通手段(電車、バス等)が十分に整っていると思う人の割合	0.154	0.216	0.212	<b>0.194</b>
仕事をはじめ社会的な生活を営む上で、自分の持っている才能や知識、技量などが十分に発揮できていると思う人の割合	0.128	0.238	0.211	<b>0.192</b>
住んでいる地域に、博物館や美術館、劇場や文化ホールなど、美術や音楽、演劇といった芸術文化活動を行うための場、あるいはそれらを鑑賞するための場が十分に整っていると思う人の割合	0.119	0.203	0.223	<b>0.182</b>
子どもが、学校に行くことやそこで学ぶことに楽しさややりがいを感じていると思う親の割合	0.144	0.253	0.133	<b>0.177</b>
府や市町村の実施する府民協働の取組に何らかの形で参画している人の割合	0.146	0.236	0.139	<b>0.174</b>
地域の防犯または防災活動に取り組んでいる人の割合	0.209	0.183	0.111	<b>0.168</b>
趣味や地域貢献活動など、やりがいや生きがいを感じるものがある高齢者の割合	0.132	0.166	0.189	<b>0.162</b>
様々な地域課題に対応する自治会やNPOの活動などに参画している人の割合	0.148	0.209	0.127	<b>0.161</b>
配偶者が家事を十分に分担していると思う既婚者の割合	0.048	0.159	0.252	<b>0.153</b>
食料を購入する際、地元産であることを意識して選んでいる人の割合	0.121	0.144	0.183	<b>0.149</b>
着物を着用している人の割合	0.167	0.201	0.049	<b>0.139</b>
日々の生活の中で、性別や身体の状態などによる差別、虐待や誹謗中傷などの人権侵害があると感じている人の割合	0.137	0.192	0.073	<b>0.134</b>
節電や公共交通機関の優先利用、環境負荷の少ない商品の優先購入といったエコな暮らし方を実践している人の割合	0.107	0.122	0.167	<b>0.132</b>
規則正しい食事や運動など、健康づくりに取り組んでいる人の割合	0.115	0.140	0.138	<b>0.131</b>
働いている職場において、子育てに対する理解や支援が十分であると思う人の割合	0.103	0.245	0.025	<b>0.124</b>
地震などの災害に備えて、避難場所や経路の確認をはじめとする避難準備や物資の備蓄などに取り組んでいる人の割合	0.119	0.195	0.044	<b>0.119</b>
同居する家族と夕食を共にしている頻度	0.113	0.104	0.131	<b>0.116</b>
子どもの有無にかかわらず、学校行事や子どもの社会体験活動への協力など、何らかの形で子どもの教育に参画している人の割合	0.133	0.080	0.105	<b>0.106</b>
家族の介護に負担や苦痛を感じていない家族介護者の割合	0.067	0.092	0.151	<b>0.103</b>
障害のある人と交流したり、障害のある人を支援する活動などに参画している人の割合	0.096	0.147	0.063	<b>0.102</b>
キャリアアップや趣味・娯楽、地域貢献活動やボランティア活動などを目的とした生涯学習に取り組んでいる人の割合	0.069	0.073	0.080	<b>0.074</b>
フェイスブックやツイッターなどのSNS(ソーシャル・ネットワーキング・サービス)を利用している人の割合	—	—	-0.037	<b>-0.037</b>
海外に住む友人(海外在住の日本人を含む。)または国内に住む外国人の友人がいる人の割合	-0.058	-0.071	-0.013	<b>-0.042</b>

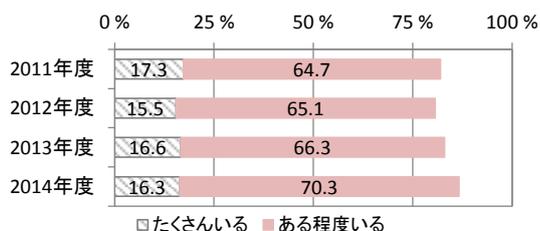
## 府民意識調査結果

### 「明日の京都」で目指す社会の状況により近い選択肢

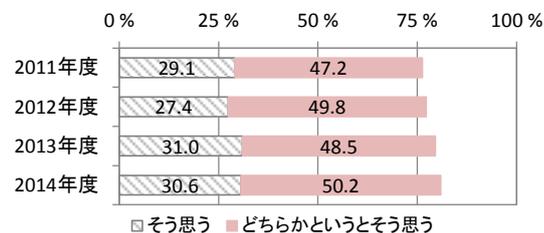
## 1. 子育てに喜びややりがいを感じている親の割合



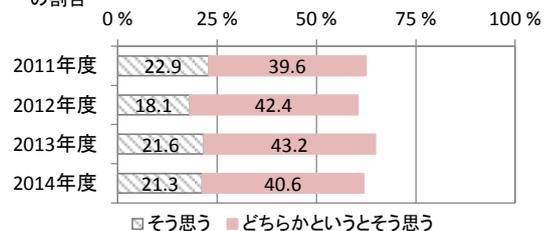
## 2. 子育ての悩みを気軽に相談できる人がいる親の割合



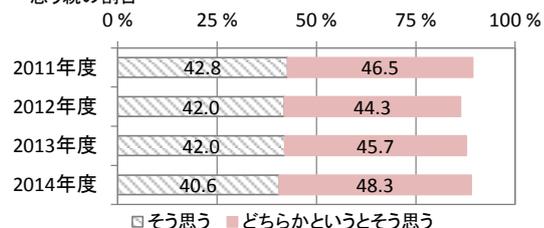
## 3. 住んでいる地域が、子どもが育つのに良い環境だと思ふ人の割合



## 4. 働いている職場において、子育てに対する理解や支援が十分であると思ふ人の割合



## 5. 子どもが、学校に行くことやそこで学ぶことに楽しさややりがいを感じていると思ふ親の割合



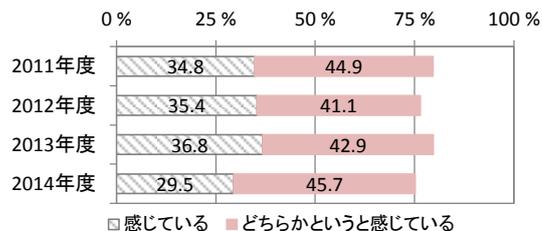
## 6. 子どもの有無にかかわらず、学校行事や子どもの社会体験活動への協力など、何らかの形で子どもの教育に参画している人の割合



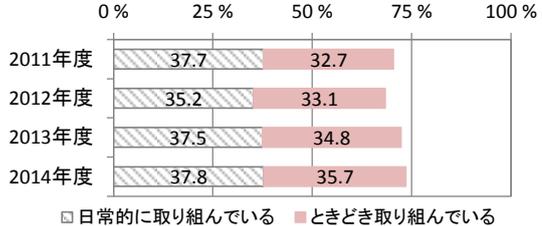
## 7. キャリアアップや趣味・娯楽、地域貢献活動やボランティア活動などを目的とした生涯学習に取り組んでいる人の割合



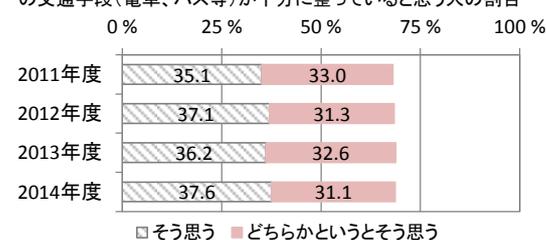
## 8. 仕事にやりがいや生きがいを感じている人の割合



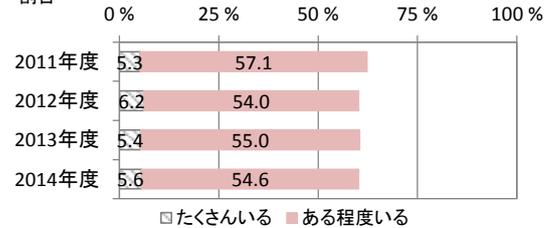
## 9. 規則正しい食事や運動など、健康づくりに取り組んでいる人の割合



## 10. 住んでいる地域に、最寄りの診療機関またはかかりつけ医へ行くための交通手段(電車、バス等)が十分に整っていると思ふ人の割合



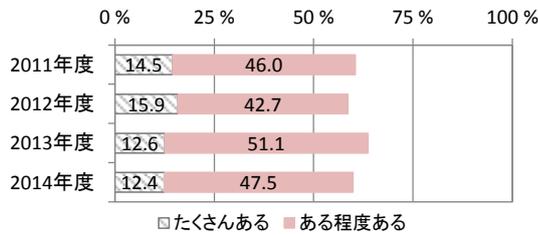
## 11. 病気やけがで困ったときに気軽に相談できるかかりつけ医がいる人の割合



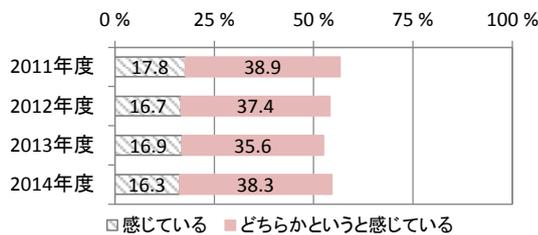
## 12. 障害のある人と交流したり、障害のある人を支援する活動などに参画している人の割合



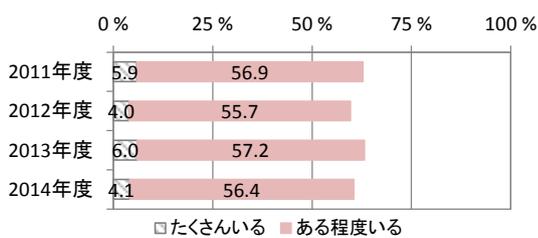
13. 趣味や地域貢献活動など、やりがいや生きがいを感じるものがある高齢者の割合



14. 家族の介護に負担や苦痛を感じていない家族介護者の割合



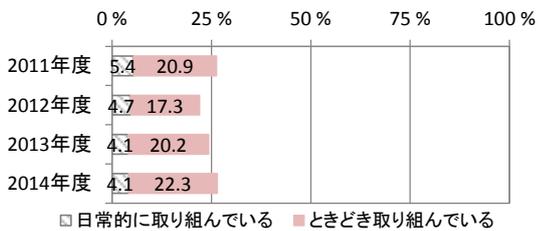
15. 家族介護の悩みを気軽に相談できる人がいる家族介護者の割合



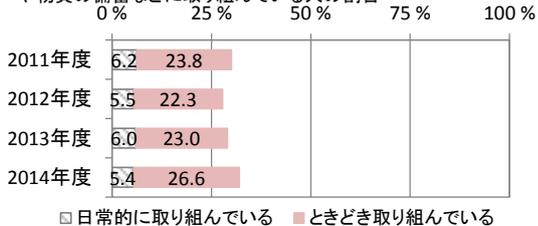
16. 住んでいる地域に、デイサービスやショートステイなどの老人福祉施設、介護ボランティアやNPOなど、地域全体が高齢者を支える体制が十分に整っていると思う人の割合



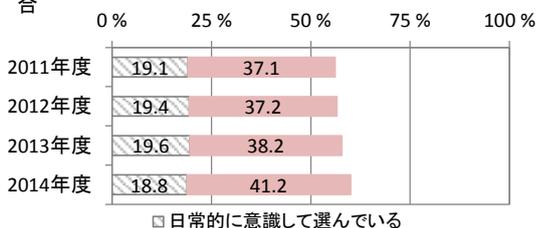
17. 地域の防犯または防災活動に取り組んでいる人の割合



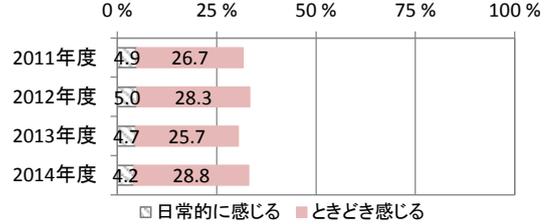
18. 地震などの災害に備えて、避難場所や経路の確認をはじめとする避難準備や物資の備蓄などに取り組んでいる人の割合



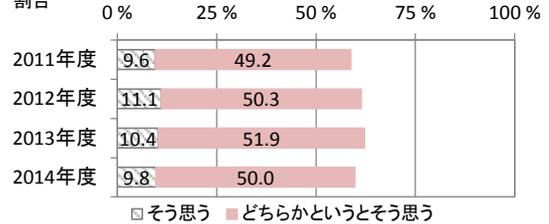
19. 食料を購入する際、地元産であることを意識して選んでいる人の割合



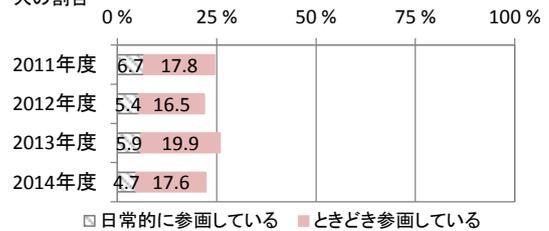
20. 日々の生活の中で、性別や身体状況などによる差別、虐待や誹謗中傷などの人権侵害があると感じない人の割合



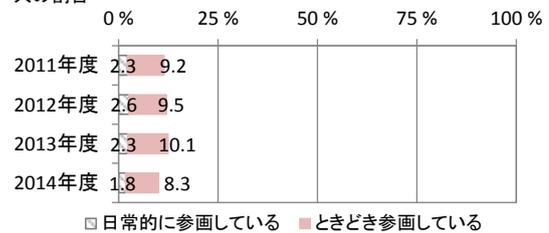
21. 住んでいる地域が、高齢者や障害のある人をはじめ、子ども、成人、妊婦、外国人などすべての人にとって暮らしやすい地域であると思う人の割合



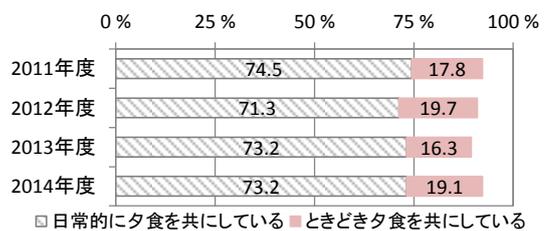
22. 様々な地域課題に対応する自治会やNPOの活動などに参画している人の割合



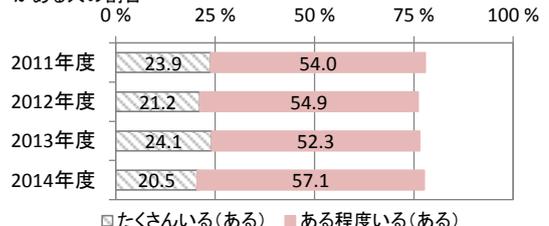
23. 府や市町村の実施する府民協働の取組に何らかの形で参画している人の割合



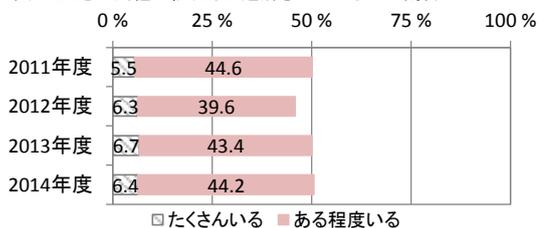
24. 同居する家族と夕食を共にしている頻度が多い人の割合



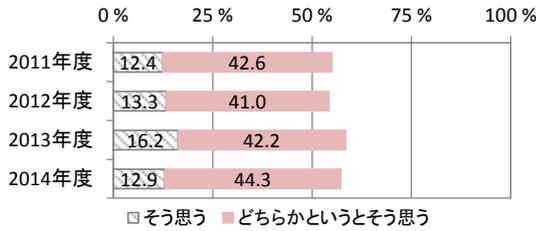
25. 身の回りに親しい友人・仲間がいるか、または、定期的顔を出す場所がある人の割合



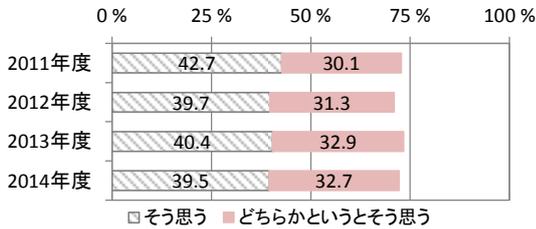
26. 困ったときに気軽に頼れるご近所さんがいる人の割合



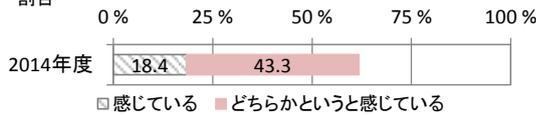
27. 住んでいる地域で、自治会活動などのコミュニティ活動が活発に行われていると思う人の割合



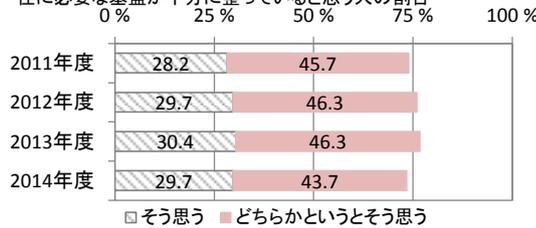
28. 配偶者が家事を十分に分担していると思う既婚者の割合



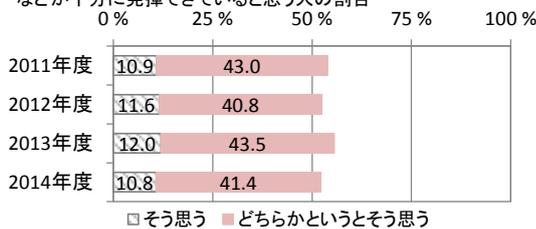
29. 住んでいる地域(住んでいる市町村)について、個性や魅力を感じている人の割合



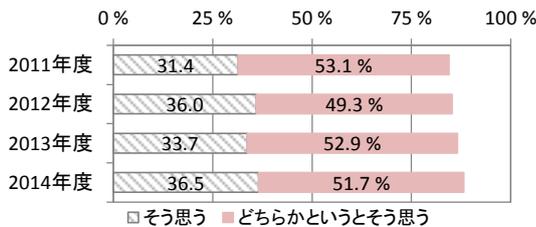
30. 住んでいる地域に、就業、交通、情報通信、医療、教育、上下水道などの定住に必要な基盤が十分に整っていると思う人の割合



31. 仕事をはじめ社会的な生活を営む上で、自分の持っている才能や知識、技量などが十分に発揮できていると思う人の割合



32. 京都府が優れたまち並みや景観、自然環境に恵まれていると思う人の割合



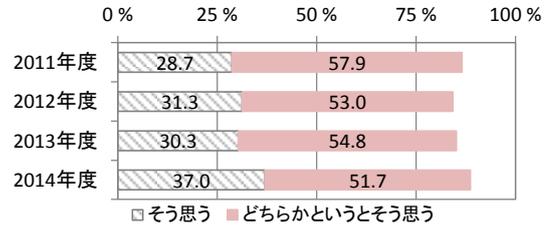
33. 節電や公共交通機関の優先利用、環境負荷の少ない商品の優先購入といったエコな暮らし方を実践している人の割合



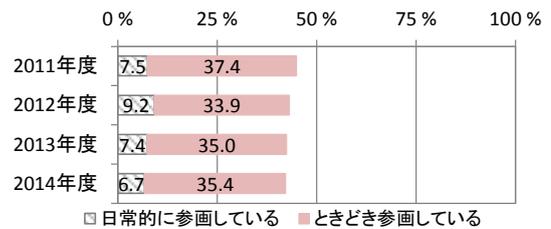
34. 住んでいる地域では、博物館や美術館、劇場や文化ホールなど、美術や音楽、演劇といった芸術文化活動を行うための場、あるいはそれらを鑑賞するための場が十分に整っていると思う人の割合



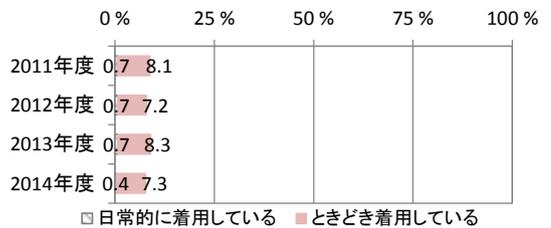
35. 京都府では歴史的な文化遺産や文化財等が社会全体で守られ、引き継がれていると思う人の割合



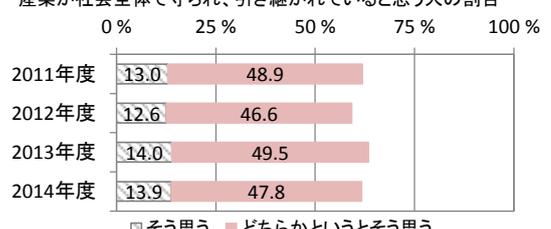
36. 地域の祭りや伝統行事に参画している人の割合



37. 着物を着用している人の割合



38. 京都府では西陣織や丹後ちりめん、京焼・清水焼をはじめとする伝統産業が社会全体で守られ、引き継がれていると思う人の割合



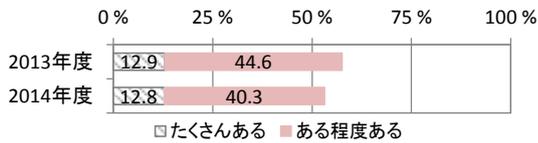
39. フェイスブックやツイッターなどのSNS(ソーシャル・ネットワーキング・サービス)を利用している人の割合



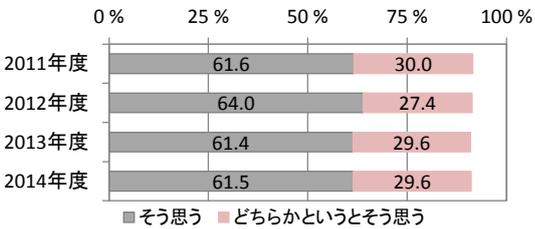
40. 海外に住む友人(海外在住の日本人を含む。)または国内に住む外国人の友人がいる人の割合



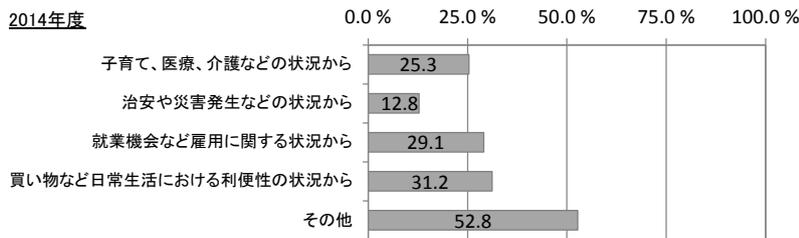
41. 将来叶えたい夢や実現したい目標がある人の割合



42. これからも京都府に住み続けたいと思う人の割合



43. 項目42で「3. どちらかというと思うわない」または「4. そう思わない」と答えた方の理由(複数回答)

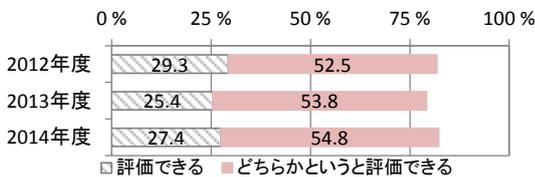


【関連項目】

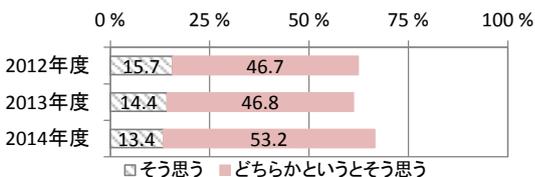
問 あなたは、「誰もがしあわせを実感できる社会」づくりをめざす京都府の府政運営の指針である『明日の京都』をご存知ですか。



問 あなたは、京都府がこのような府民の意識調査などによる指標(京都指標)を作成し、府政運営の羅針盤としていることについて、どう思いますか。



問 あなたは、京都府が、府民のしあわせのために、「積極的に取り組んでいる」「がんばっている」と思いますか。



問 あなたは、「ユニバーサルデザイン」という言葉や意味を知っていますか。

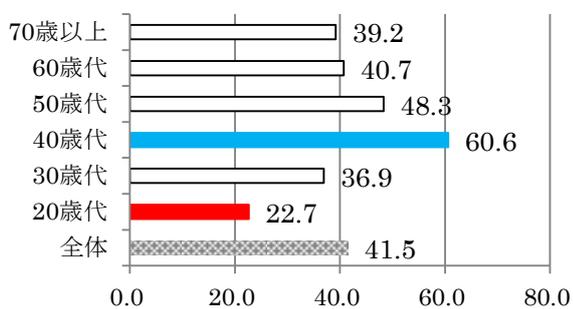


## 属性別集計値に大きな差が認められたもの

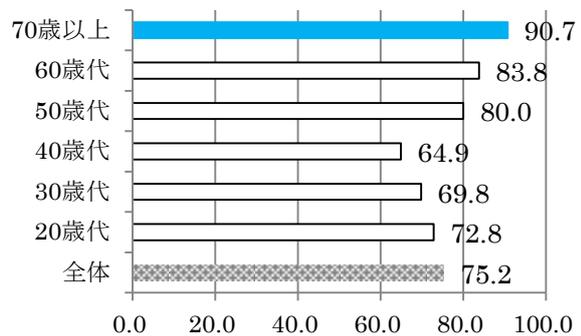
- 年齢・地域別集計値のうち、全体集計値から15ポイント以上高い（低い）ものを掲載
- 性別集計値のうち、異性との差が15ポイント以上高い（低い）ものを掲載

### <年齢別>

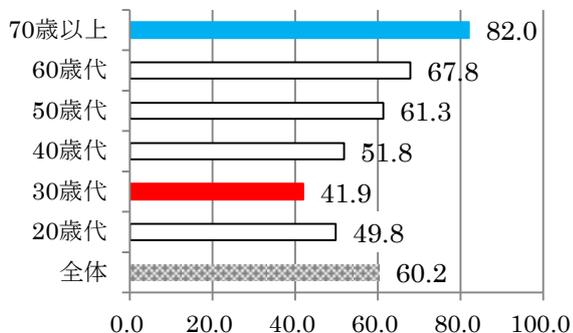
子どもの有無にかかわらず、学校行事や子どもの社会体験活動への協力など、何らかの形で子どもの教育に参画している人の割合



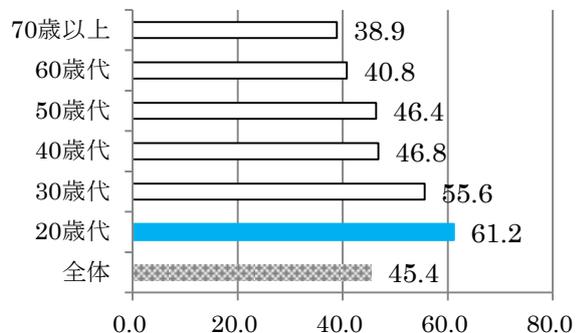
仕事にやりがいや生きがいを感じている人の割合



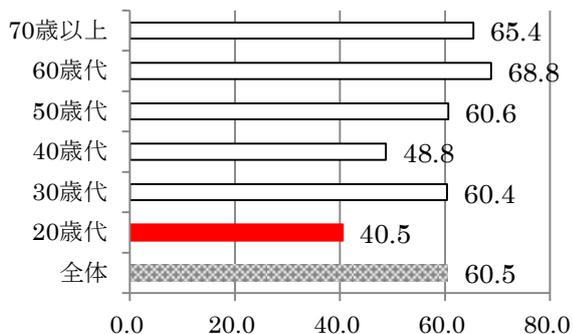
病气やけがで困ったときに気軽に相談できるかかりつけ医がいる人の割合



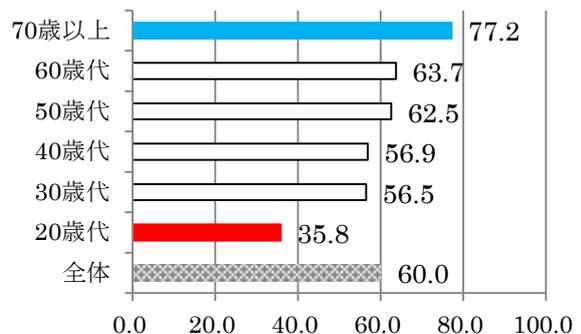
家族の介護に負担や苦痛を感じていない家族介護者の割合



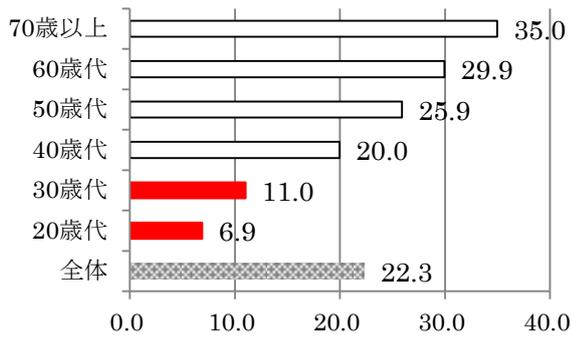
家族介護の悩みを気軽に相談できる人がある家族介護者の割合



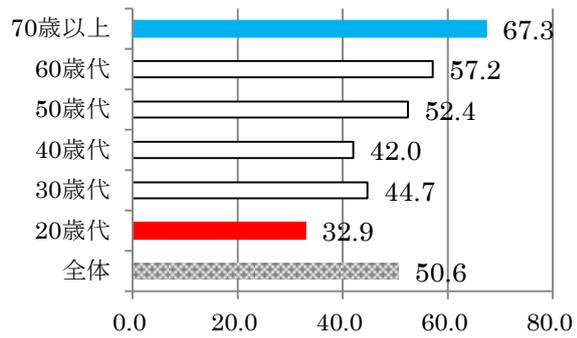
食料を購入する際、地元産であることを意識して選んでいる人の割合



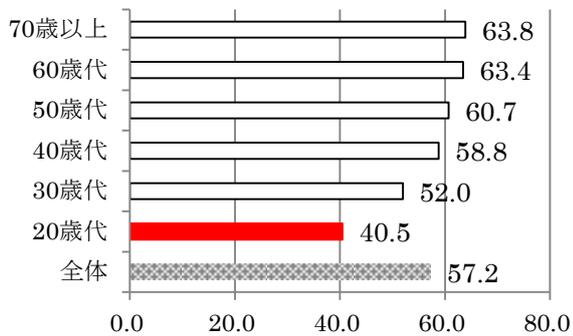
様々な地域課題に対応する自治会やNPOの活動などに参画している人の割合



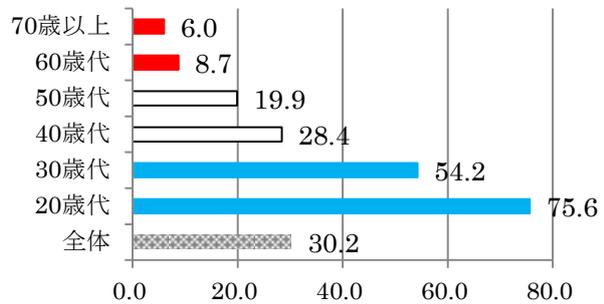
困ったときに気軽に頼れるご近所さんがいる人の割合



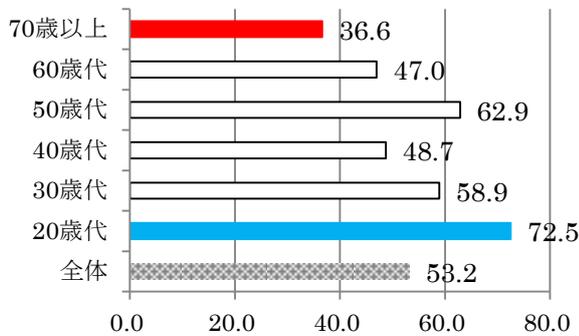
住んでいる地域で、自治会活動などのコミュニティ活動が活発に行われていると思う人の割合



フェイスブックやツイッターなどのSNS(ソーシャル・ネットワーキング・サービス)を利用している人の割合

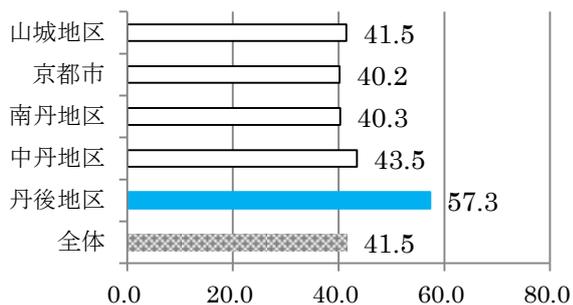


将来叶えたい夢や実現したい目標がある人の割合

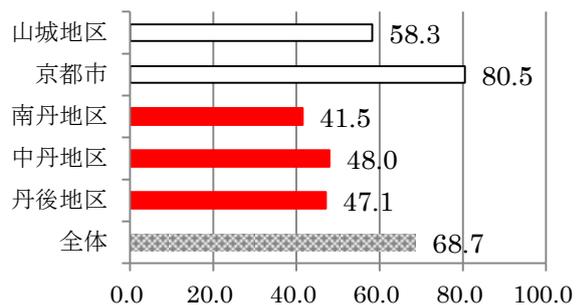


<地域別>

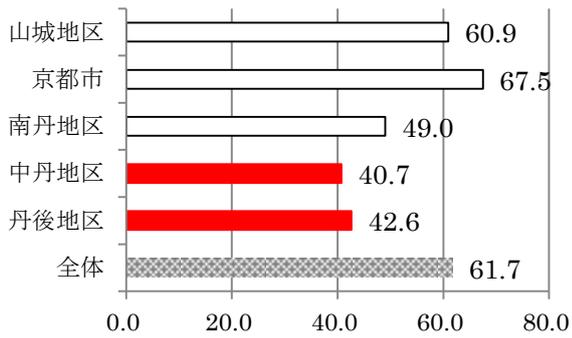
子どもの有無にかかわらず、学校行事や子どもの社会体験活動への協力など、何らかの形で子どもの教育に参画している人の割合



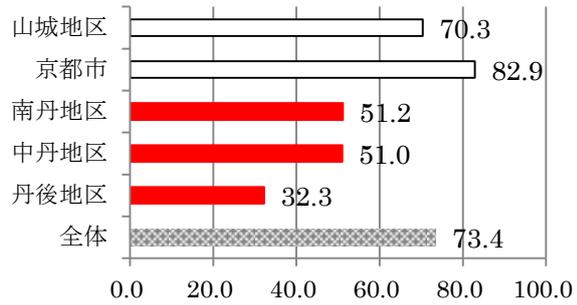
住んでいる地域に、最寄りの診療機関またはかかりつけ医へ行くための交通手段(電車、バス等)が十分に整っていると思う人の割合



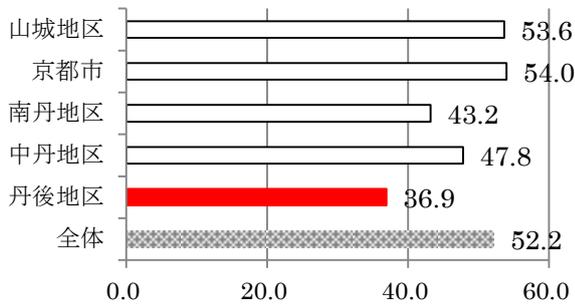
住んでいる地域について、個性や魅力を感じている人の割合



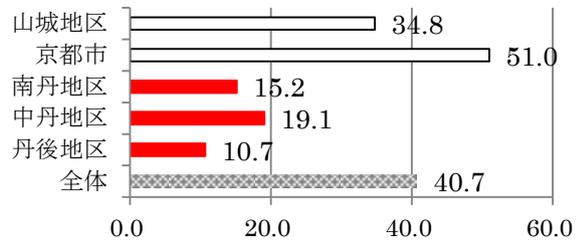
住んでいる地域に、就業、交通、情報通信、医療、教育、上下水道などの定住に必要な基盤が十分に整っていると思う人の割合



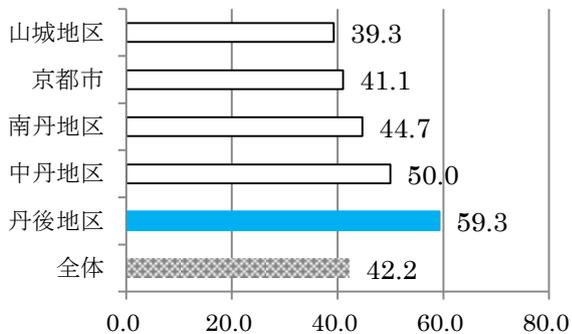
仕事をはじめ社会的な生活を営む上で、自分の持っている才能や知識、技量などが十分に発揮できていると思う人の割合



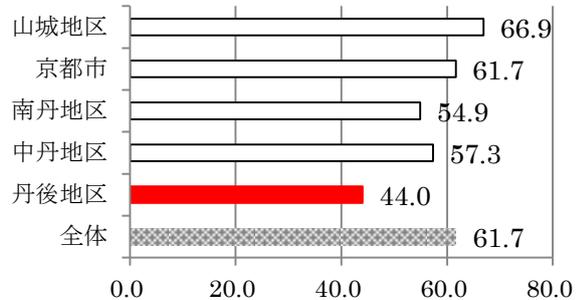
住んでいる地域に、博物館や美術館、劇場や文化ホールなど、美術や音楽、演劇といった芸術文化活動を行うための場、あるいはそれらを鑑賞するための場が十分に整っていると思う人の割合



地域の祭りや伝統行事に参加している人の割合

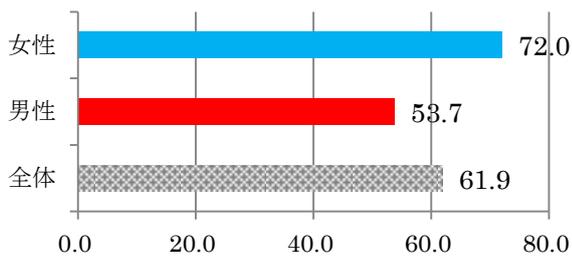


京都府では西陣織や丹後ちりめん、京焼・清水焼をはじめとする伝統産業が社会全体で守られ、引き継がれていると思う人の割合

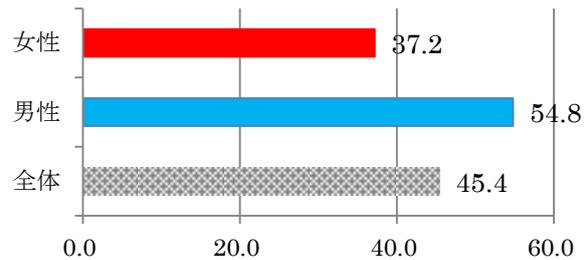


## <性別>

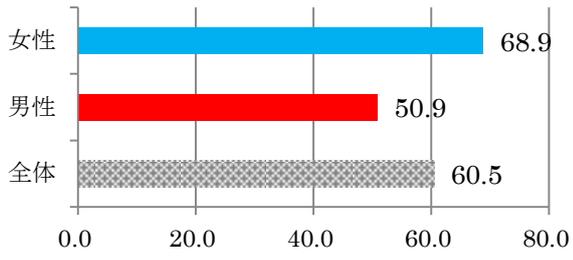
働いている職場において、子育てに対する理解や支援が十分であると思う人の割合



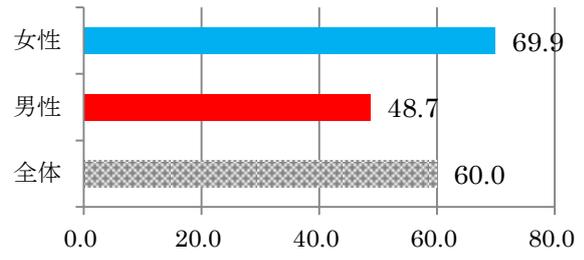
家族の介護に負担や苦痛を感じていない家族介護者の割合



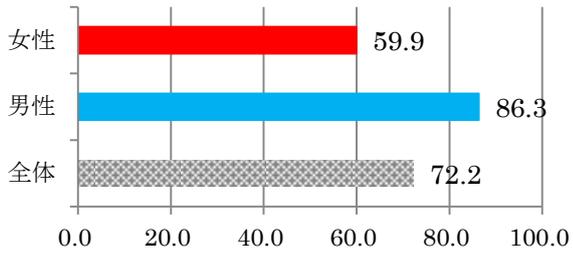
家族介護の悩みを気軽に相談できる人がいる  
家族介護者の割合



食料を購入する際、地元産であることを意識して選んでいる人の割合



配偶者が家事を十分に分担していると思う既婚者の割合



## 「京都府民の意識調査」の概要

## 2011 年度調査概要

- (1) 調査対象
  - ・ 京都府内在住の満 20 歳以上の府民 3,000 人
- (2) 調査方法
  - ・ 郵送による無記名アンケート形式（謝礼、督促状等なし）
- (3) 調査時期
  - ・ 2012 年 1 月
- (4) 回収状況
  - ・ 回収数：1,293 通
  - ・ 回収率：43.7%（あて先不明等による送達不能 48 通を除く）

## 2012 年度調査概要

- (1) 調査対象
  - ・ 京都府内在住の満 20 歳以上の府民 4,100 人
  - ・ 3,000 人を全市町村に人口で比例配分した上で、亀岡市以北の市町に 1,100 人を追加配分し、無作為抽出（配分に当たっては、性別・年齢階層を考慮）
- (2) 調査方法
  - ・ 郵送による無記名アンケート形式（謝礼、督促状等なし）
- (3) 調査時期
  - ・ 2013 年 1 月
- (4) 回収状況
  - ・ 回収数：1,800 通
  - ・ 回収率：44.4%（あて先不明等による送達不能 48 通を除く）

## 2013 年度調査概要

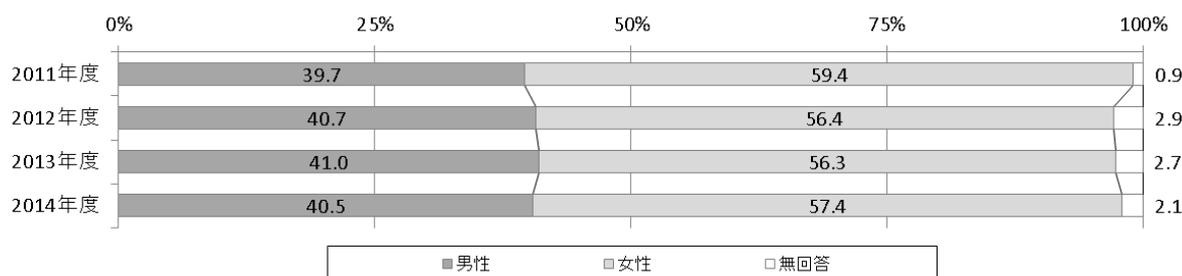
- (1) 調査対象
  - ・ 京都府内在住の満 20 歳以上の府民 4,100 人
  - ・ 3,000 人を全市町村に人口で比例配分した上で、亀岡市以北の市町に 1,100 人を追加配分し、無作為抽出（配分に当たっては、性別・年齢階層を考慮）
- (2) 調査方法
  - ・ 郵送による無記名アンケート形式（謝礼、督促状等なし）
- (3) 調査時期
  - ・ 2013 年 6 月
- (4) 回収状況
  - ・ 回収数：1,636 通
  - ・ 回収率：40.3%（あて先不明等による送達不能 43 通を除く）

## 2014 年度調査概要

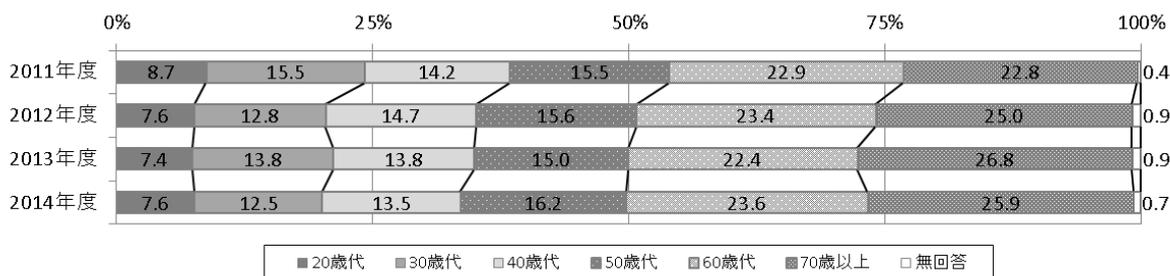
- (1) 調査対象
  - ・ 京都府内在住の満 20 歳以上の府民 4,100 人
  - ・ 3,000 人を全市町村に人口で比例配分した上で、亀岡市以北の市町に 1,100 人を追加配分し、無作為抽出（配分に当たっては、性別・年齢階層を考慮）
- (2) 調査方法
  - ・ 郵送による無記名アンケート形式（謝礼、督促状等なし）
- (3) 調査時期
  - ・ 2014 年 6 月
- (4) 回収状況
  - ・ 回収数：1,619 通
  - ・ 回収率：40.0%（あて先不明等による送達不能 56 通を除く）

## 回答者の属性

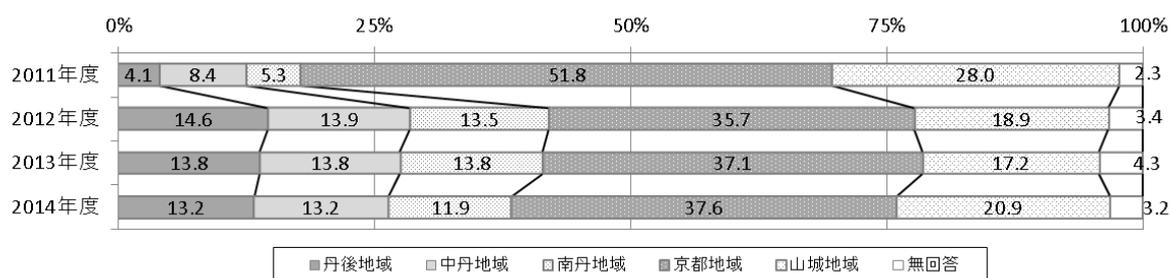
### ■性別



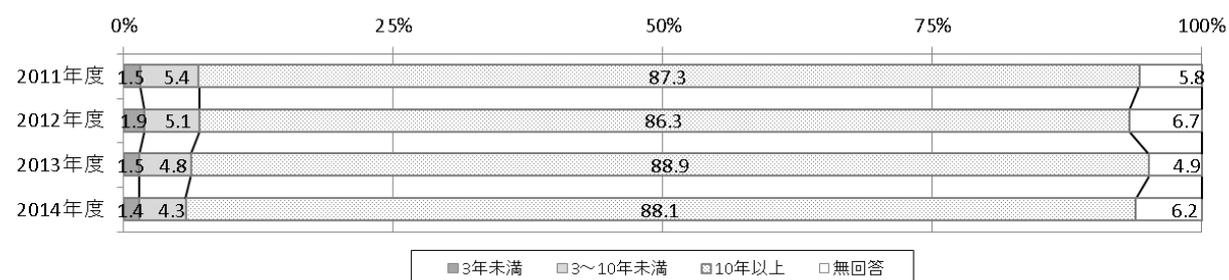
### ■年齢



### ■居住地域



### ■府内居住年数



### ■職業

